NW5500/NW5000
狩猟罠用発信機

NATEC

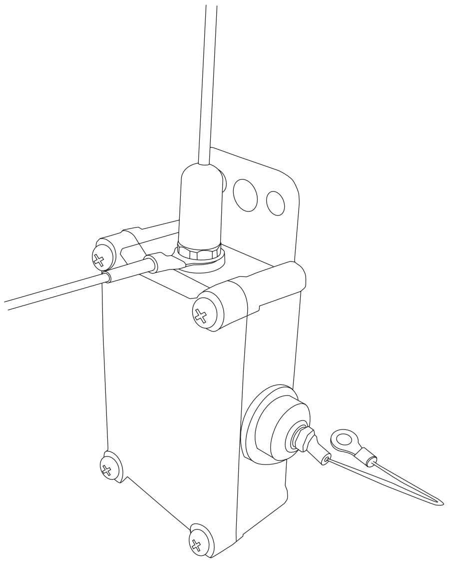
免許不要、申請無しで使用可能　※
142MHz帯ＰＬＬ方式（142.94～142.98ＭＨｚ）5チャンネル
16発信音＋マイク音＋電池消耗警告機能、マグネットスイッチ使用（リードスイッチ）

※「特定小電力無線局150MHz帯動物検知通報システム用無線局」の標準規格「ARIB STD-T99」適合通信モジュールを採用

取扱説明書

この度は、ナテック製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用の前に本取扱説明書をお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになった後は保管して下さるようお願い致します。

特徴



◎　技術基準基準適合証明取得モジュールを採用

◎　周波数変更（チャンネル変更）が可能。142.94～142.98MHzのうち5チャンネル切替可能（10KHzステップ）

◎　16種類の発信音で周波数（チャンネル）サーチが不要、16ヶ所の設置場所が判別可能

◎　電池消耗警告機能付き。消耗状態により２段階の警告音で、電池の交換時期を事前にお知らせ

◎　動作が確実なマグネット式スイッチ

◎　本体にマグネットスイッチをセットしている （電源OFF） 時は電力消費無し

◎　ID（個体識別番号）があり、専用受信機（別売）を使用して番号を確認可能

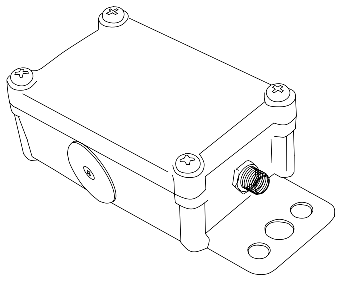
◎　軽量、耐水性に優れる防水型強化プラスチックケース

◎　高効率設計で電波が良く飛び、高感度マイクで罠の状況がよくわかる

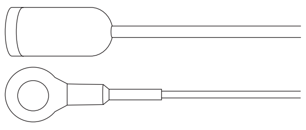
◎　オプションのダイポールアンテナ(外付型)を使用して通信距離を延長可能

構成

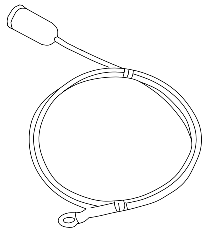
NW5500/NW5000には、下記内容物が同梱されています。
ご使用の前にご確認下さい。



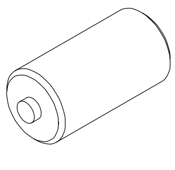
NW5500/NW5000本体



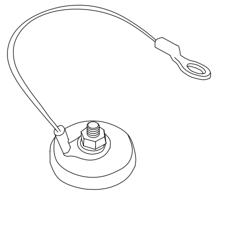
ダイポールアンテナ (NW5500)



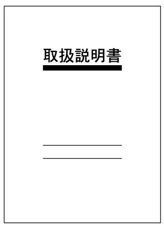
ワイヤーアンテナ(NW5000)



電池(CR123A)



マグネットスイッチ



取扱説明書(本書)

安全上のご注意

⚠ 警告 下記事項は、無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

■ 設置・点検作業等は、しっかりとした足場を確保した上で行って下さい。
■ 設置・点検作業等は、雨天・強風・雷時等天候の悪い日は行わないで下さい。
■ 雷が鳴り始めたら設置した本体・アンテナ等には触らないで下さい。

⚠ 注意 下記事項は、無視して誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

■ 落下させる、無理に折り曲げる、引っ張ったりするなど強い衝撃は与えないで下さい。
■ 分解・改造はしないで下さい。
■ 布などで覆わないで下さい。
■ 電池の (+) (−) をご確認の上入れて下さい。
■ 長期間使用しない場合は、電池を取り出して下さい。
■ 濡れた手でケース内部(基板等)に触れないで下さい。
■ ケース内部(基板等)に水を掛けたり、水が入ったりしないようご注意下さい。
■ ケース蓋のネジは4本均等にしっかりと締付けて下さい。又、締付ける際はゴムパッキンがすれていないか確認の上締付けて下さい。
■ 指定以外のオプションや他社製品を接続しないで下さい。
■ 異常があったら、すぐに使用を中止して下さい。

分解・改造について

本品の分解・改造は、不正改造として電波法に基づき罰せられる場合があります。又、分解・改造された場合は修理をお受けできない場合があります。点検・修理等は当社にご依頼下さるようお願い致します。

オプションについて

当社技術基準適合以外の指定アンテナ・同軸ケーブルを使用すると電波法に基づき罰せられる場合があります。又、故障の原因となる可能性がございます。

△ 電波を利用する機器ですので、不確実性が必ず伴います。ご理解の上ご使用頂くようお願い致します。
△ 万が一、故障・動作不良・誤動作等が原因で人命・財産等に損害があっても、当社はその責任を負うものではありません。
△ 本品を何らかのシステムや電子機器等に組み込んだり、本来の用途以外でのご使用の場合、いかなる不具合・損害が生じても当社はその責任を負うものではありません。

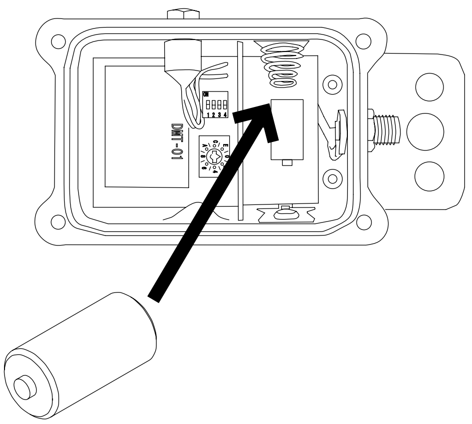
仕様

電源	CR123A (リチウム電池)	
電源スイッチ	マグネットスイッチ式	
音	16種類	
規格	ARIB STD-T99適合	特定小電力無線局150MHz帯動物検知通報システム用無線局の無線設備標準規格
周波数	142.94MHz (CH1) 142.95MHz (CH2) 142.96MHz (CH3) 142.97MHz (CH4) 142.98MHz (CH5)	5チャンネル切替式
送信	間欠送信	8秒間隔
接栓	本体側：SMA-J アンテナ側：SMA-P	オプションアンテナATD-142接続可能
電池寿命	約90時間	音8番設定時の発信時間（マグネットが外れている状態） 電池残量警告機能が働くまでの時間（電池残量警告機能が働いてから約15時間動作）
本体寸法	約72mm×46mm×28mm	突起物含まず
本体ケース	強化プラスチック	
重量	約110g(NW5500)/約105g(NW5000)	電池含まず
その他	個体識別番号 (ID番号) ※ 電池残量警告機能 キャリアセンス機能	※ 表示には専用受信機（別売）が必要

取扱方法

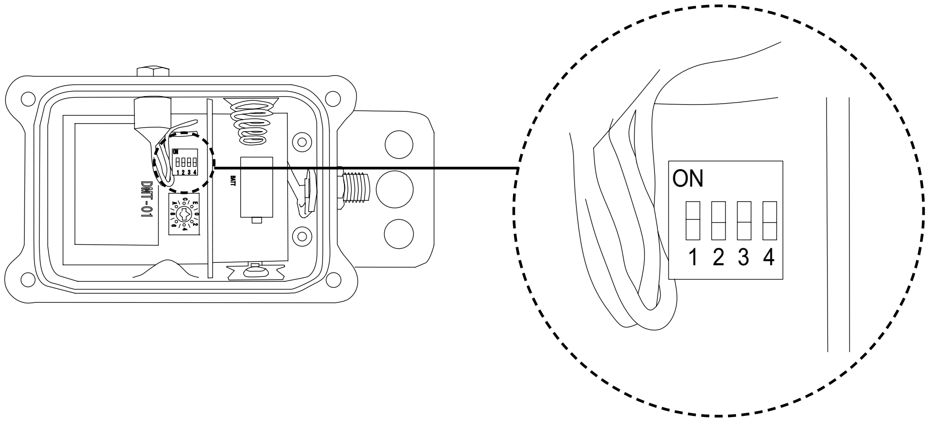
● 電池を入れる

○ 蓋の4ヶ所のネジをドライバーでゆるめ、蓋を開けて電池をセットします。
○ 電池の極性を間違えないように入れて下さい。
○ マイナス(-)側(バネ側)より先に電池を入れて下さい。



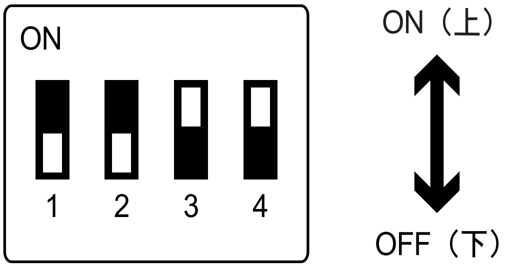
● 周波数(チャンネル)・マイクON/OFFの変更方法

本機は5周波数(チャンネル)の選択とマイク機能のON/OFFの切り替えができます。



SW1・SW2・SW3
周波数(チャンネル)の変更用スイッチ

SW4
マイクON/OFFの変更用スイッチ



142.94MHz(CH1)
マイクON　の場合

○ 周波数を変更する場合は、SW1・SW2・SW3を下記周波数(チャンネル)表を参照の上セットして下さい。
○ SW1・SW2・SW3のON/OFF組み合わせで5周波数(チャンネル)の選択ができます。
○ マイク機能をONにする場合は、SW4を上にセットして下さい。
○ マイク機能をOFFにする場合は、SW4を下にセットして下さい。
○ スイッチの切り替えはピンセット等、先が細いものをご使用下さい。

※ 出荷時は、142.94MHz(CH1)・マイクONにセットされています。
※ 変更後は必ず設置する前に、一度発信してご確認下さい。

周波数(チャンネル)表　[SW1・SW2・SW3]

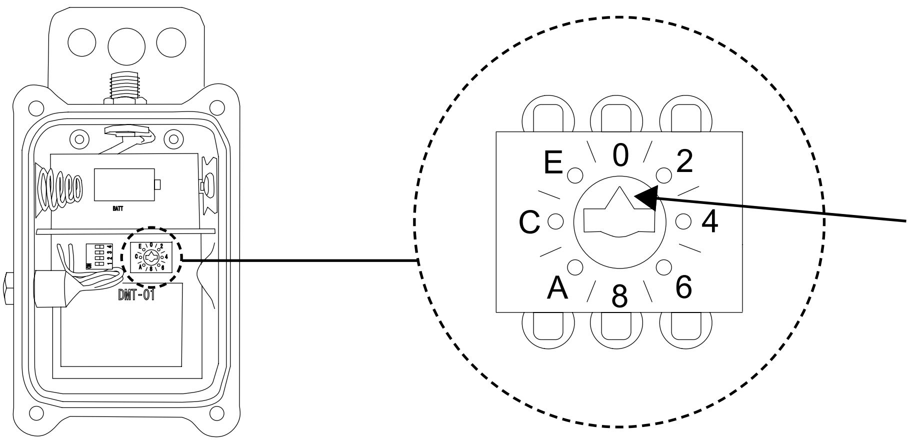
周波数 MHz チャンネル	スイッチ設定		
	SW1	SW2	SW3
142.94MHz CH1	OFF(下)	OFF(下)	ON(上)
142.95MHz CH2	OFF(下)	ON(上)	OFF(下)
142.96MHz CH3	OFF(下)	ON(上)	ON(上)
142.97MHz CH4	ON(上)	OFF(下)	OFF(下)
142.98MHz CH5	ON(上)	OFF(下)	ON(上)

マイクON/OFF表　[SW4]

マイク機能	スイッチ設定
	SW4
マイクON	ON(上)
マイクOFF	OFF(下)

● 発信音の変更方法

本機は間欠発信です。音を発信して約8秒間、休止します。この繰り返しです。（送信時間は発信音の設定により変わります。）



左図では0番に合わせています

○ 発信音を変更する場合は、ロータリースイッチのダイヤルを回して下記音表を参照の上、矢印を番号にセットして下さい。
○ １ に合わせたい時は、０ と ２ の中間に合わせます。同様に ３・５・７・９・B・D・F は中間に合わせます。番号表示は ０・２・４・６・８・A・C・E となっています。（ １・３・５・７・９・B・D・F は表示が省略されています）
○ ロータリースイッチのツマミを回す際は、溝に合ったマイナスドライバー等をご使用下さい。

※ 出荷時は、下記音表8番（ピー音・1回）にセットされています。
※ 変更後は必ず設置する前に、一度発信してご確認下さい。

音表

番号	音の種類	音の回数
0	ピッピ	×1
1	ピッピ　ピッピ	×2
2	ピッピ　ピッピ　ピッピ	×3
3	ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ	×4
4	ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ	×5
5	ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ	×6
6	ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ	×7
7	ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ　ピッピ	×8
8	ピー	×1
9	ピー　ピー	×2
A	ピー　ピー　ピー	×3
B	ピー　ピー　ピー　ピー	×4
C	ピー　ピー　ピー　ピー　ピー	×5
D	ピー　ピー　ピー　ピー　ピー　ピー	×6
E	ピー　ピー　ピー　ピー　ピー　ピー　ピー	×7
F	ピー　ピー　ピー　ピー　ピー　ピー　ピー　ピー	×8

● 発信音設定例

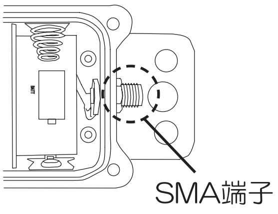
発信音4番 マイクON に設定

送信	休止	送信
マイク音 約1秒待機 ピッピ ピッピ ピッピ ピッピ ピッピ 約1秒待機 （ピッピ音 × 5）	約8秒間休止	マイク音 約1秒待機 ピッピ ピッピ ピッピ ピッピ ピッピ 約1秒待機 （ピッピ音 × 5）

○ 発信は上記サイクルの繰り返しとなります。（マイク音は発信音の出ている時間だけ音が入ります。）

● アンテナを接続する

付属のアンテナを本体から出ているSMA端子にねじ込んで下さい。

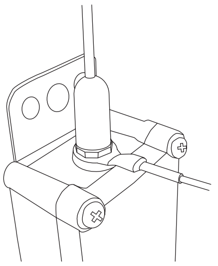


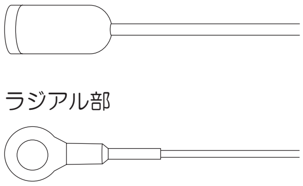
■ アンテナは取付工具を使用せず、手でねじ込んで下さい。
■ SMA端子根本にあるシリコンパッキンは防水の為必要なので、外さないで下さい。
■ アンテナ線を強く引っ張らないで下さい。持つときはコネクタ部を持つようお願い致します。

NW5500(ダイポールアンテナ)

○ ラジアル部を右図のように蓋側方向(水平)に向け、圧着端子(輪)をSMA端子に入れて下さい。
○ エレメント部を上からねじ込んで下さい。

■ エレメント部を垂直(上)にして運用して下さい。
■ ラジアル部は上下に曲げたりせず、水平にして運用して下さい。
■ ラジアル根元部は折り曲げたり、負荷が掛かると折れる可能性がありますので取り扱いにご注意下さい。

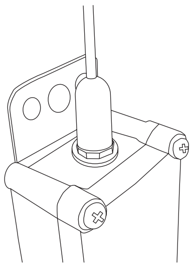




NW5000(ワイヤーアンテナ)

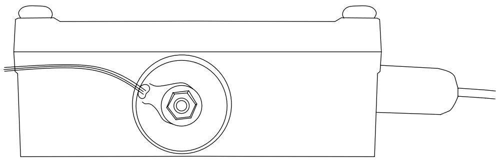
○ アンテナを上からねじ込んで下さい。
○ アンテナを垂直(上)に伸ばし、先端を固定して下さい。

■ 折り曲げたり・丸めたりせず、まっすぐに伸ばして下さい。
■ 出荷時はアンテナは本体に接続されています。

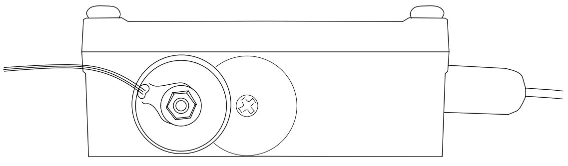


● マグネットスイッチのセット

本機はマグネットスイッチが外れると電源がONになり、本体側のマグネットプレートにマグネットスイッチをセットするとOFFになります。



電源OFF



マグネットスイッチがズレている為、電源ONになる可能性有

○ 上記右図のようにマグネットスイッチが、ズレていると電源がONになってしまう可能性がございますので、OFFにする際は上記左図のようにスイッチをプレートの中央にセットして下さい。

■ マグネットプレートに貼ってある白いシールは剥がさないで下さい。
■ マグネットスイッチは当社純正品をご使用下さい。磁力・サイズが異なる他のマグネットでは動作しない場合がございます。

● 電池消耗警告機能

本機には電池の消耗を事前に知らせる機能(アラーム１・２の二段階)があります。新品の電池(1400mA/h)を入れた状態からの発振時間は下記の通りです。(弊社実験値)

○ マグネットが外れて送信開始後、約90時間後アラーム１が発振音に重ねて聞こえます。(ピピピー)
○ さらに約5時間後 アラーム２が発振音に重ねて聞こえます。(ピピピー、ピピピー)
○ さらに約10時間後 発振が停止します。

● 設置のポイント

○ 本機を罠に設置する際、保護の為にビニール袋等に入れることをお勧め致します。
○ 本機を高い位置に設置するほど、電波の飛びは良くなります。
○ アンテナは折り曲げたり・丸めたりせず、まっすぐに伸ばして下さい。

● オプション

当社技術基準適合の指定アンテナ・同軸ケーブルを使用すると電波法に基づき罰せられる場合があります。又、故障の原因となる可能性がございます。
オプション品がご必要な場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

○ ATD142DX　ダイポールアンテナセット(外付型)　同軸ケーブル5m/10m/20mから選択
○ NWC03　同軸ケーブル　RG58A/Uケーブル　3m　MP-SMAP
○ NWC05　同軸ケーブル　RG58A/Uケーブル　5m　MP-SMAP
○ NWC10　同軸ケーブル　RG58A/Uケーブル　10m　MP-SMAP

※製品向上の為、外観・仕様は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。
※万一初期不良・破損等がございましたら、弊社までご連絡お願い致します。
※本書に掲載されている全ての情報に関する著作権は、株式会社ナテックに帰属します。
※本書の情報を弊社に無断で複製、転用、改変、送信、転載等することは禁止されています

製品についてのお問い合せ
株式会社ナテック　〒350-1133埼玉県川越市砂903-5　URL：http://www.natec-j.com/　TEL：049-247-1181